

【7月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 国語の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【12月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 国語の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 国語の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 国語の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

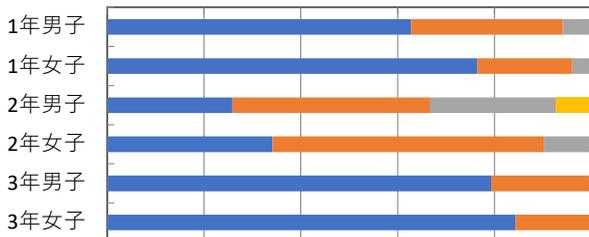
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 国語の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

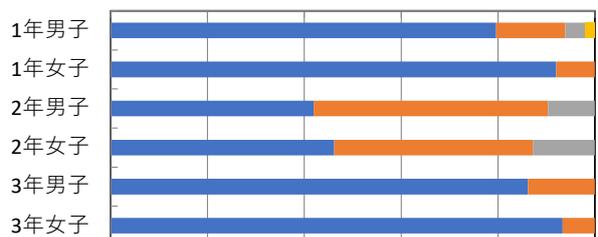
0% 20% 40% 60% 80% 100%

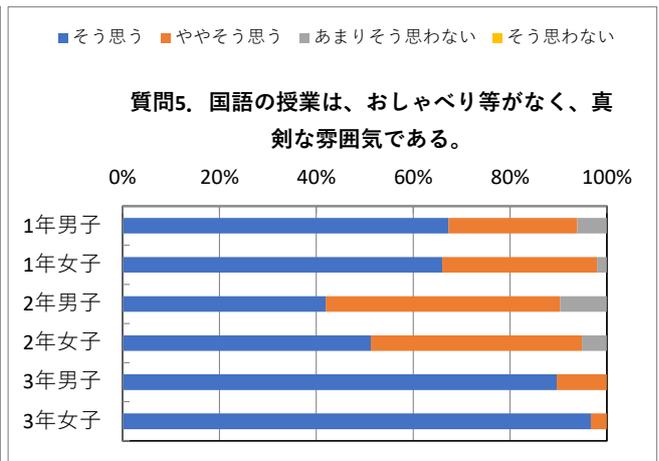
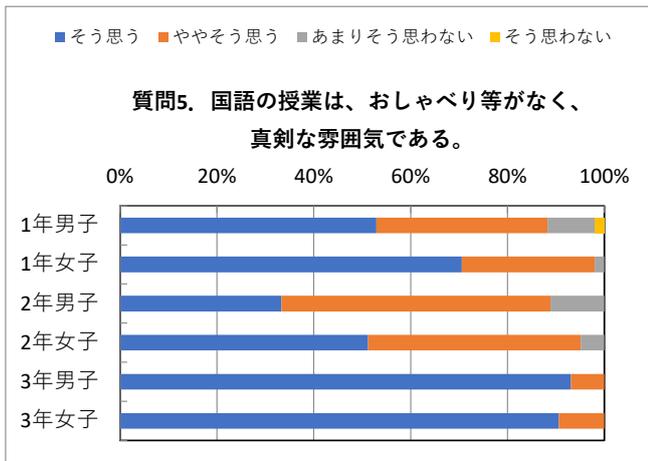
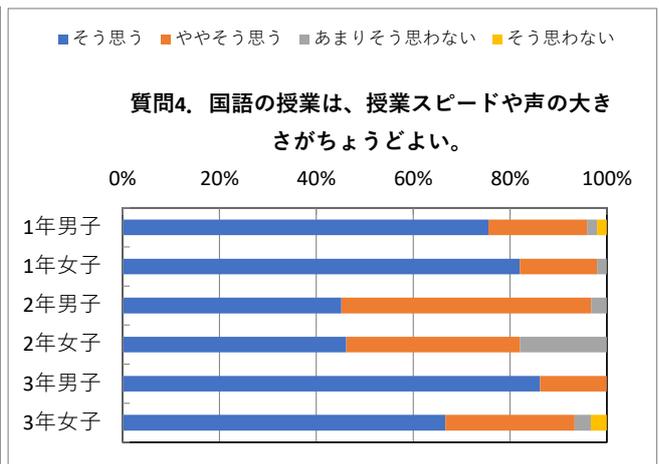
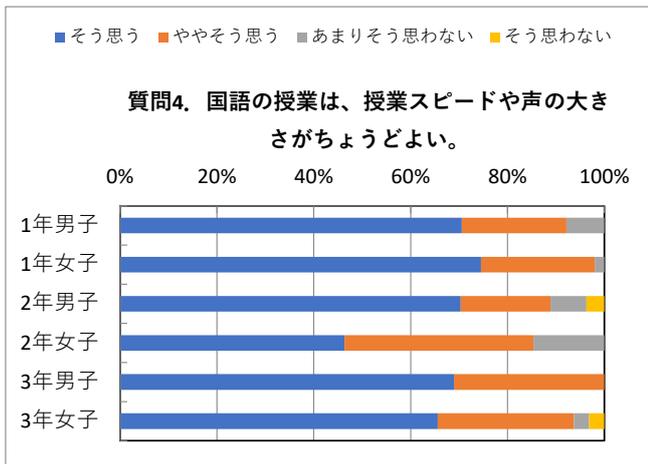


■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 国語の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%





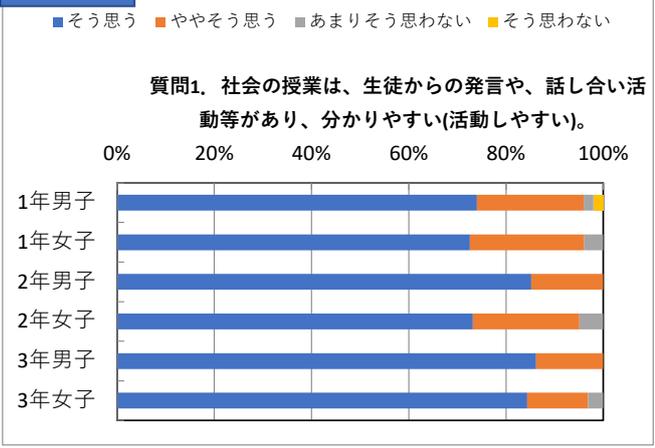
【分析】
 全体として肯定的な回答であった。「質問1」「質問4」から、生徒の発言・表現から意見交流によって相互理解につながれている実感があり、取り組みやすいペースで授業が行なえていることがわかる。さらに「質問5」から、授業時に実感している集中力の向上が数値として表れている。ただ「質問3」からは、ICT教具の使用が十分ではない現状もわかるため、生徒の関心・意欲の向上につなげるためにも、積極的に取り入れていく。

【課題】
 [1年]授業での積極的な発言が多く、他者の良さを取り入れていく向上心も強い。また、重要点を文章化してまとめる力も成長している。「質問5」を踏まえ、今後は活動からの切り替えを的確にできる力を育成する。
 [2年]授業での取り組みの姿勢・集中力が、昨年度より向上している。さらに理解の深化に意欲を見せる生徒も多いため、「質問1」の改善につながるように、ICT教具を活用しての授業展開や意見交流に取り入れる。
 [3年]授業での思索の精度が高まり、さらに根拠を踏まえてわかりやすく他者に説明する表現力も伸長している。「質問4」にあるように、授業ペースに対応できる柔軟性を磨くため、相互確認の機会の設定を増やし、生徒がより総括的な理解の上で、進捗状況を管理できる能力の育成に励む。

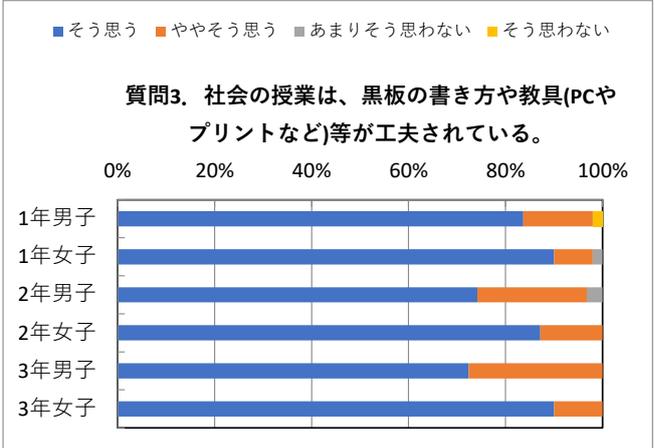
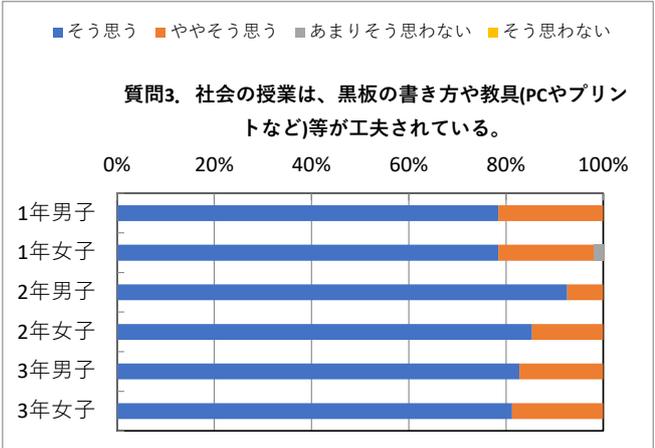
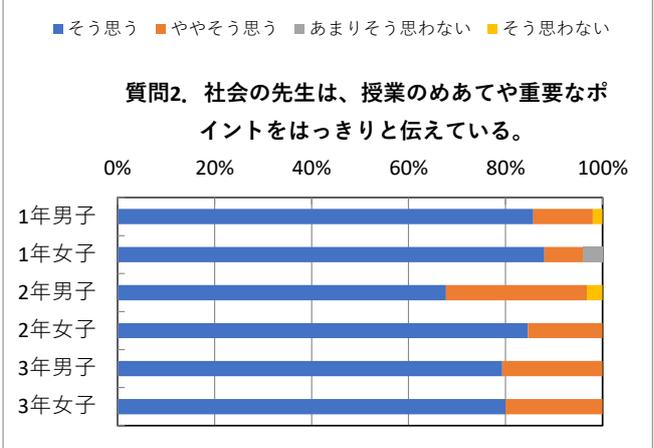
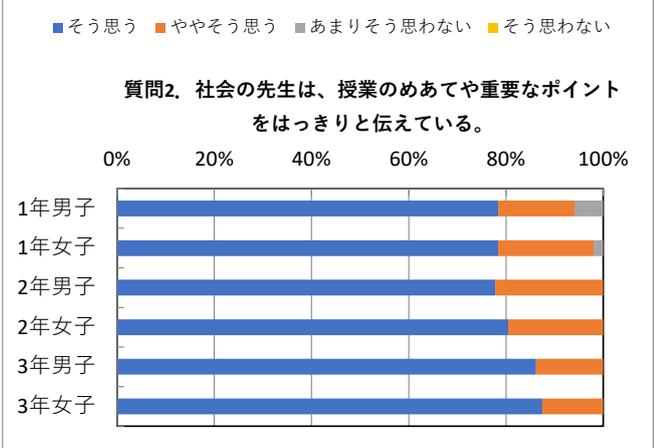
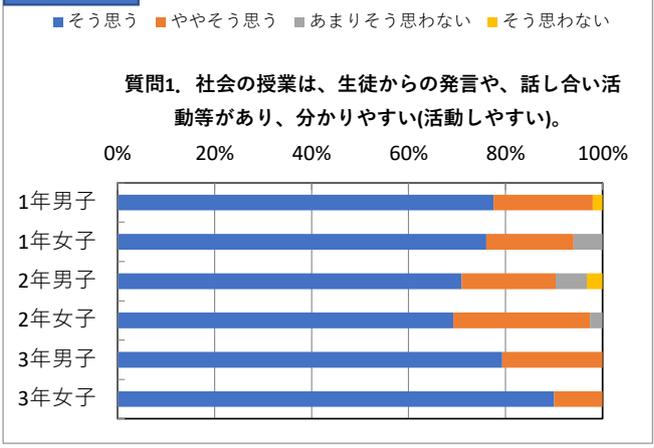
【分析】
 [1年]「質問1」では男女ともに肯定的な評価が増えた。単元の導入や総括で班ごとに意見交流を行い、試験後にも他者に取り組みの方法を教えてもらうなどの機会を設定したことによると考える。今後もまずは自分の考えを自主的に伝える場面を設定していく。
 [2年]1, 3年に比べ「そう思う」との回答が低いものの、全ての項目において7月より肯定的な評価が増えている。発言も多く、反応もよい学年である。話し合い活動をもっと取り入れたいと思いつながりながら躊躇する場面が少なくなかった。授業のスピードについてはさらに配慮していく。
 [3年]昨年からの指導方針が浸透してきたこと、各自が受験を意識したことにより集中力や自主性が一層と高まり、達成感へと繋がり、各項目で肯定的な意見が多くなった。「質問4」での女子の回答が十分とは言えなかった。今後は、ペース配分を考慮して、理解の深度を把握して展開していく。

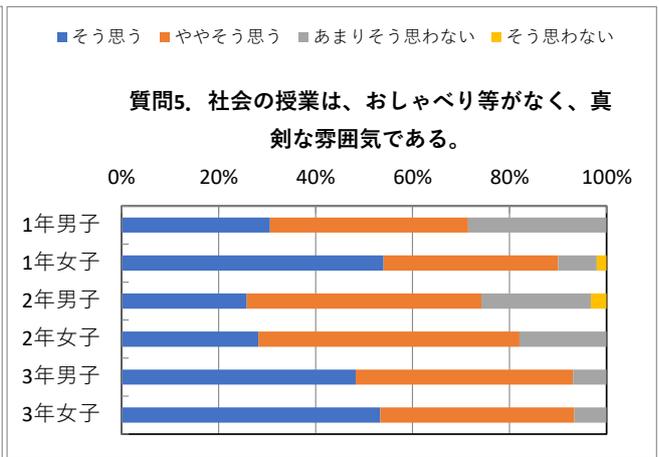
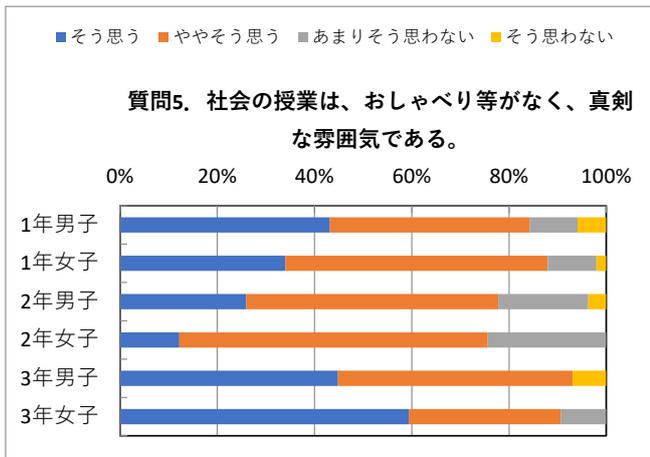
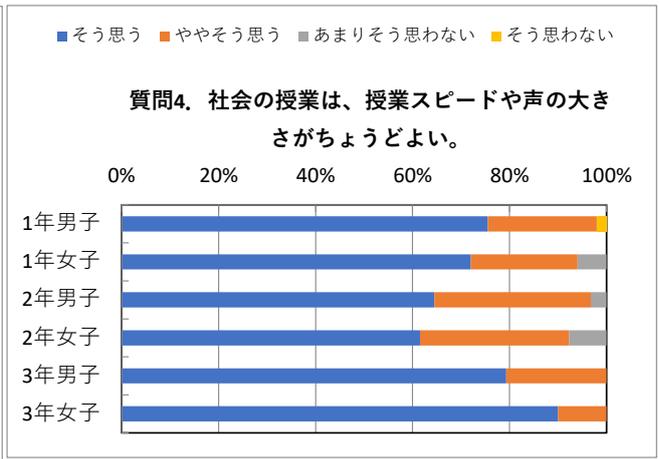
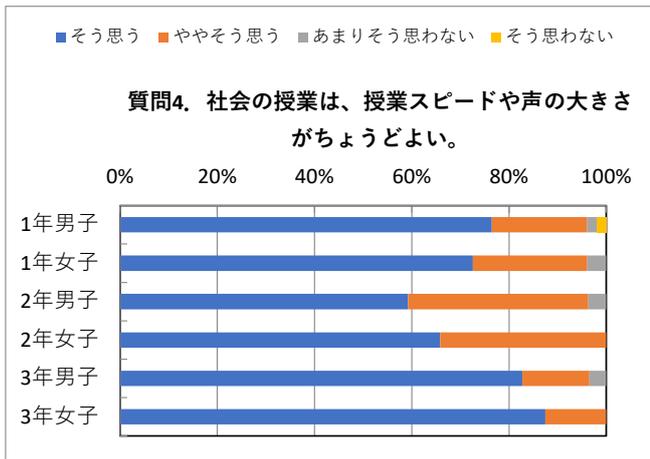
【成果と課題】
 今年度はICT機器を使用して視覚的情報による理解へのアプローチを多く取り入れた。グループでの意見交流をプロジェクタにより学級全体で共有し、タブレットを通して評価・指導を迅速に行うことができた。導入時は前時の重要点の再確認を行い、展開では発言の喚起を行うとともに、相互での意見交流を実施し、プリントにフィードバックさせ、提出と確認をした。これにより生徒の活動・理解の承認と評価を丁寧に行えた。来年度は、個人がタブレットを持つので、生徒の自己表現の手段のひとつとして、授業での活用をさらに進め、使用方法の提案をすることで、「質問3」の項目の改善につなげる。

【7月】



【12月】





【分析】
 全体的に肯定的である。「質問1」の結果から、授業内で対話的活動を積極的に取り入れたことで、誰でも積極的に参加しやすい雰囲気作りができていていると考えられる。また、「質問2」「質問3」の結果からは、ICT機器を活用することで、各分野における興味関心を高めることができ、生徒にとって分かりやすい授業に結びついていると考えられる。

[1年] 「質問5」の結果から、対話的活動や生徒とのコミュニケーションによる授業展開を行っていくために、授業内での切り替えが課題として挙げられる。明確な時間設定や授業展開の工夫に取り組み、メリハリのある授業を実践していく。

[2年] 「質問5」の結果から、授業規律の点で課題がみられる。話し合い活動や意見共有の時間と、そうではない時間の切り替えを徹底し、メリハリのつけた指導を行っていく。

[3年] 「質問5」の結果から、授業規律の点で課題がみられる。話し合いや意見共有の時間と、自分の意見を書く、考える時間とのメリハリを意識した指導を行っていく。

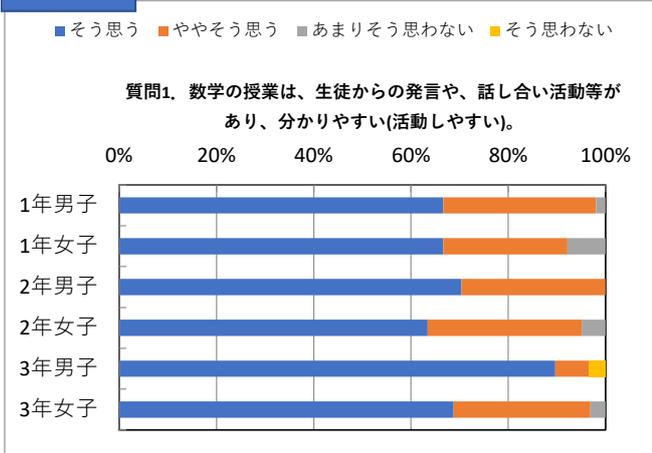
【分析】
 [1年] 「質問5」では、否定的な評価が増えてしまった。社会の授業が「楽しい」と感じられ、より意欲的に学びを深められるように授業規律について継続した指導を徹底していく。また他の質問項目においても、「分かりやすい」と感じられるよう、生徒の視点に立って授業改善を行っていく。

[2年] 「質問1」における否定的な評価が増えた。授業内での生徒同士の教え合い・学び合いの活動を増やすとともに、机間巡視の中で個々の生徒の理解度を把握することで改善を図る。「質問5」での女子の肯定的な意見が増えた。活動する場面とそうでない場面のメリハリのある授業展開をより充実させていく。

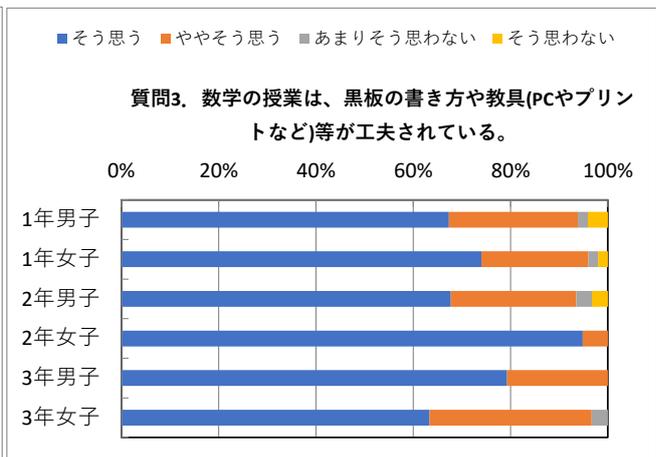
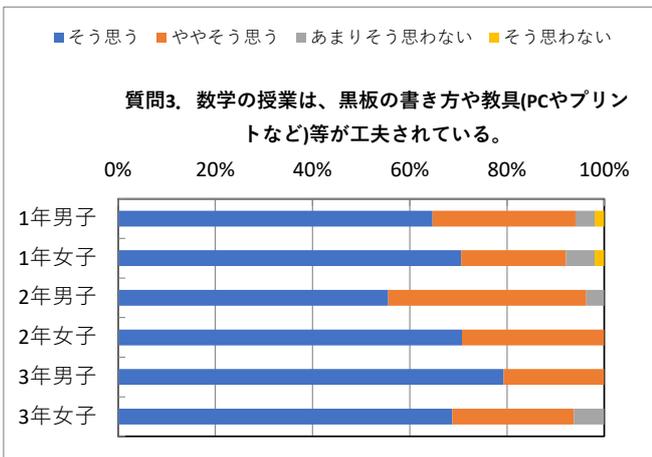
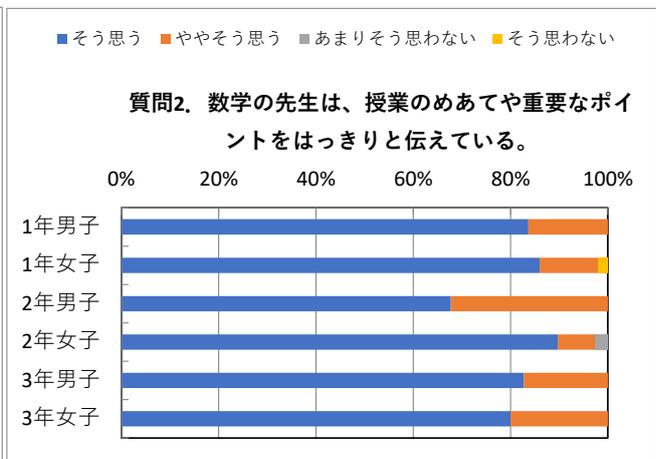
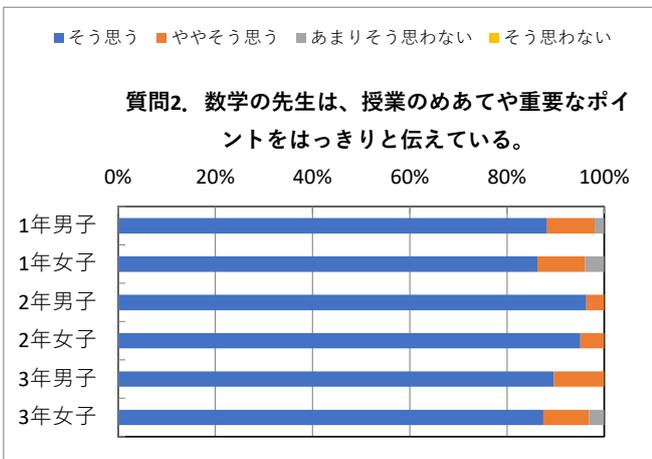
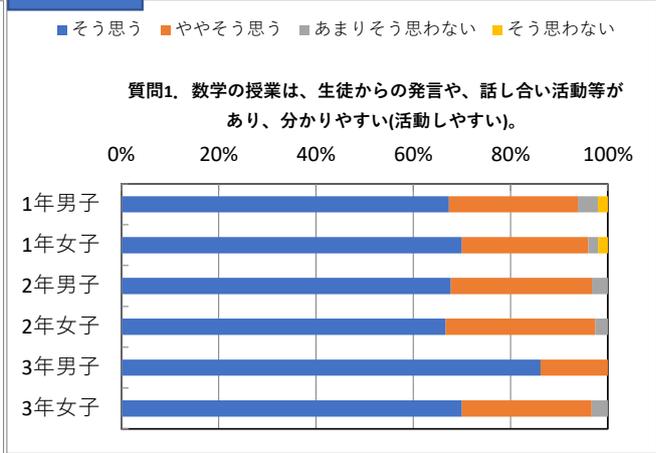
[3年] [質問1]における肯定的意見の微減は、コロナ禍において、話し合いの活動を充実させることができなかったことが要因の一つであると考えられる。受験を意識した授業にシフトする中で、主体性を高めるために、話し合い等の活動を授業の中に取り入れていく。

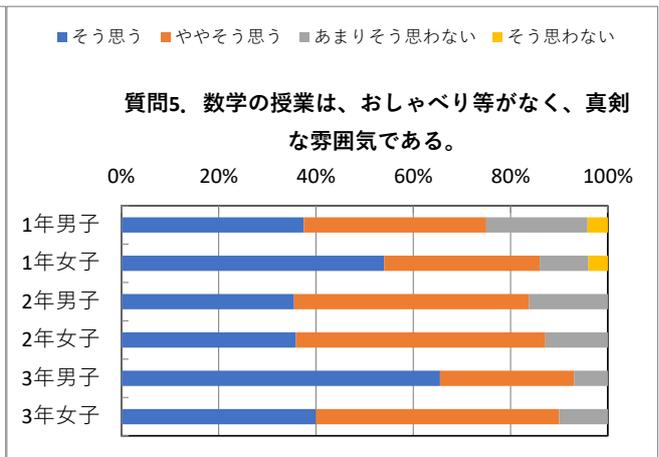
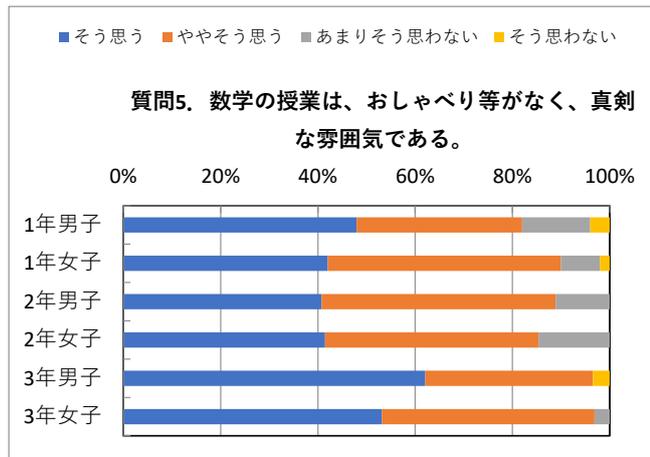
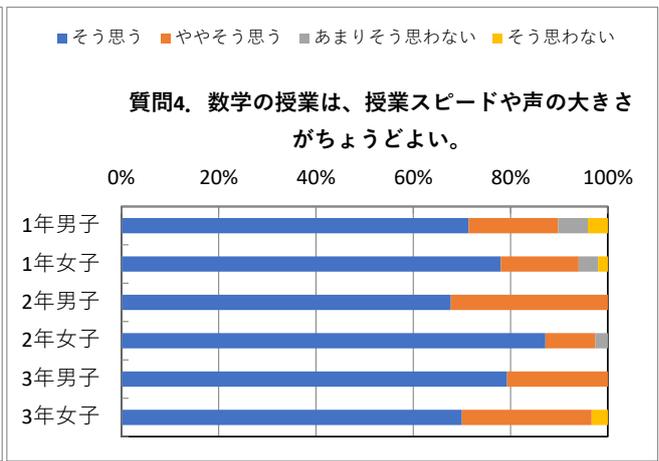
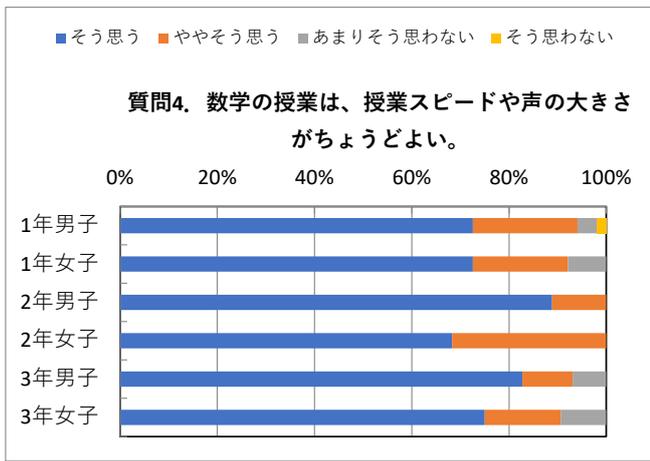
【成果と課題】
 積極的にICTを活用し、対話的活動を効果的に取り入れた。また単元見通シートを取り入れ、単元の学習課題の把握や学習した内容のまとめなど、生徒の学びを視覚化し、理解を深められるよう工夫した。そのため「質問1」～「質問4」の項目では、年間を通して、肯定的な意見が見られる結果となった。一方で、「質問5」の項目においては、否定的な意見が増えたので、授業内でのメリハリをつけさせ、授業規律の点で継続した指導を徹底する必要がある。今後も生徒たちが授業に興味・関心をもって主体的に学べるように工夫していく。

【7月】



【12月】





【分析】
 全体的に肯定的だった。特に「質問2」では「そう思う」の範囲が多く、生徒は授業でのポイントが理解できていると考えられる。また、ICT機器などの教具の活用が生徒にとって分かりやすい授業に結びつくと考えられる。

【課題】
 [1年] 否定的評価が多いのが、「質問5」なので、授業規律に注意して授業を行う。
 [2年] 男女間で大きく差が表れたのが「質問4」である。授業の中での声量やスピードを、授業中、生徒のノートの様子などから判断し、改善していく。
 [3年] 「質問1」では、男女間の違いがはっきりしている。女子が積極的に授業で発言しやすくなるよう、工夫していく。

【分析】
 [1年] 「質問5」では、否定評価が増えた。授業は少人数のどのクラスでもよい雰囲気で行っているが、授業規律について継続した指導をしていく。また、「質問1」において、「そう思わない」という意見が増えている。コロナ禍の中でできることを工夫しながら話し合い活動等を授業に取り入れていく。
 [2年] 「質問3・4」における肯定評価が女子では、伸び、逆に男子は減っている。授業のノートをチェックすると、全体的に見て男子の方が上手く整理できない傾向にある。授業では、そういった問題点を配慮し、授業スピードや教材などをさらに精査していく。
 [3年] 「質問1」で、7月から話し合いの場面を増やしたため、男子の否定評価が無くなった。しかし、女子の評価が変わらなかった。

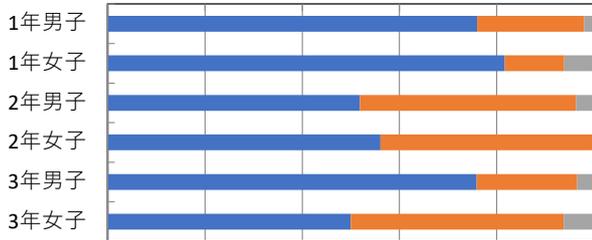
【成果と課題】
 今年度の授業では、各教室にプロジェクターが設置され、ICT機器が使いやすい環境となった。積極的にこれらの機器を活用し、生徒にとって何が最善となるのかを考えながら授業にあたったため、「質問3」の項目が伸びる結果となった。来年度は、生徒一人一人にタブレット端末が配布される。したがってその利用方法等を開発することが課題である。さらに充実したICTでの活動を行えるよう、授業改善に努める。

【7月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 理科の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【12月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 理科の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 理科の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 理科の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 理科の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

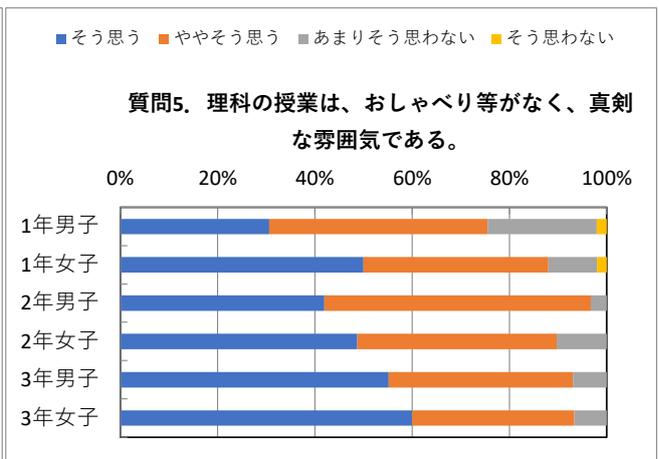
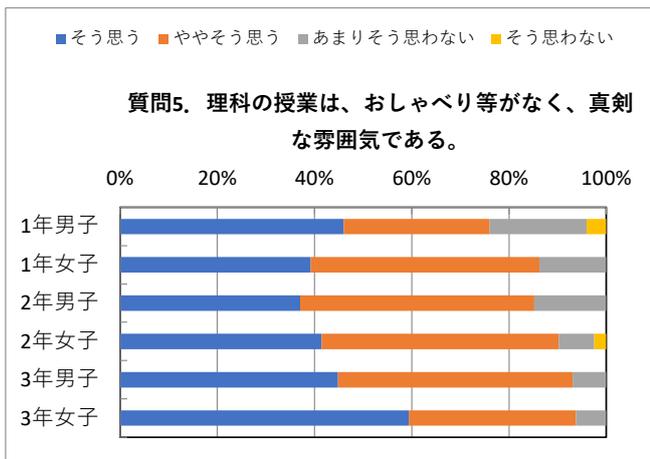
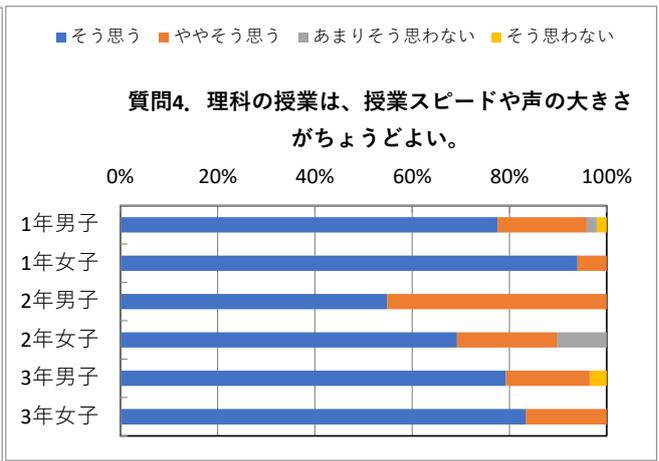
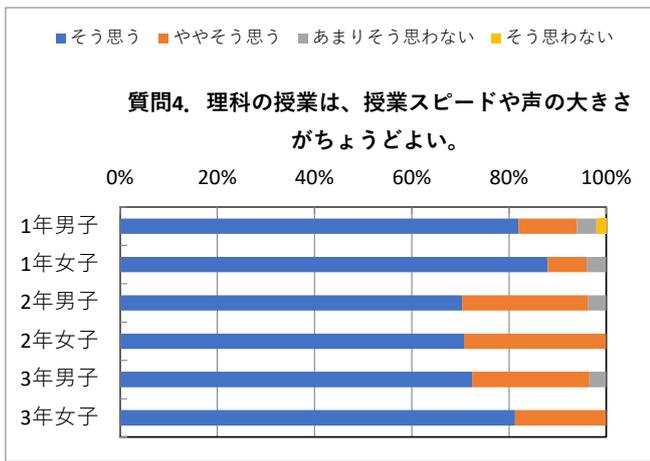


■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 理科の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%





【分析】
 全体的に肯定的だった。特に「質問3」「質問4」では肯定的な回答が97%であり、授業スピードや黒板の使い方は生徒にとって分かりやすいものになっている。

【課題】
 [1年][2年]「質問5」の結果、グレーや黄色グラフ（否定的評価）が多かった。「質問1」の結果は否定的評価がほとんどなかったため、話し合い活動を継続しつつ、授業規律に注意して授業を行う。
 [3年]「質問1」「質問5」の結果から、話し合い活動や実験などで自分の意見をしっかり述べる場面を多く設定しつつ、授業規律に注意して授業を行う。

【分析】
 [1年]「質問5」の否定的意見が引き続き多い結果となった。生徒からの発言を引き出しながら授業を行っているが、身近な題材で興味を引き出していく。「質問2～4」では、肯定的意見が増えた。今後もICTを活用して実際に「見せる」ことを意識して授業を行っていく。
 [2年]「質問4」で女子の否定的意見が増えている。生徒の様子をよく見ながら、授業スピードや声の大きさを調整していく。「質問5」の男子の肯定的意見が増えた。今後も話し合い活動など充実させながらも真剣な雰囲気を取り組むよう課題を工夫していく。
 [3年]「質問1」「質問2」の結果から、その授業のねらいが十分に伝わっていない生徒も多いことから、今後もねらいを明確にしつつ、コロナの状況を見ながら話し合い活動などを充実させていく。

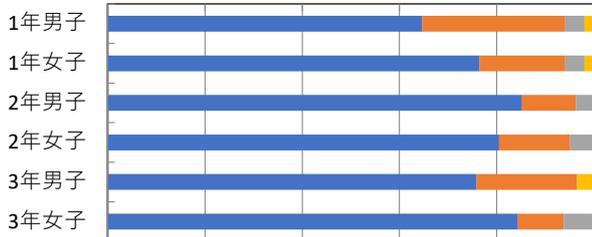
【成果と課題】
 ICT機器を積極的に活用して授業を行った。特に教室での演示実験では、黒板に写しながら録画し、何度も再生したり、スローで見直したりすることで、生徒への興味や理解が深められた。そのため「質問3」では年間を通して肯定的な意見が多くみられる結果となった。一方「質問5」ではその他の項目に比べ、否定的な意見も多いため、「楽しい」だけで終わらず、見た現象から自分で「考えさせる」ことを意識して授業改善に努める。

【7月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 英語の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【12月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 英語の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

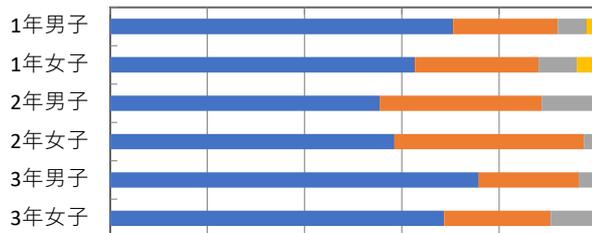
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 英語の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 英語の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

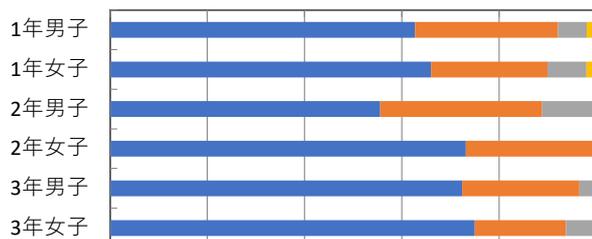
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 英語の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

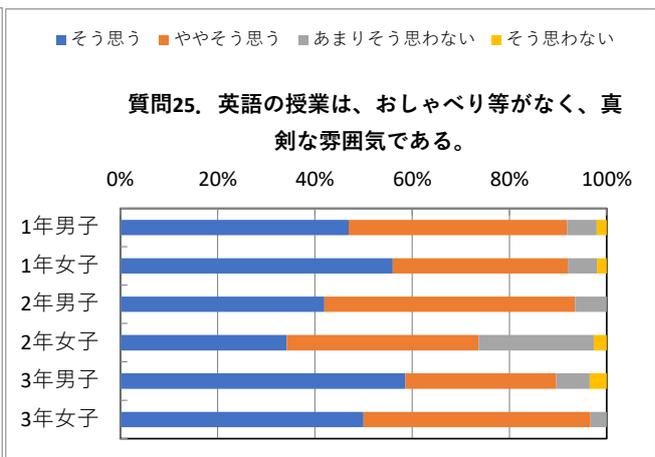
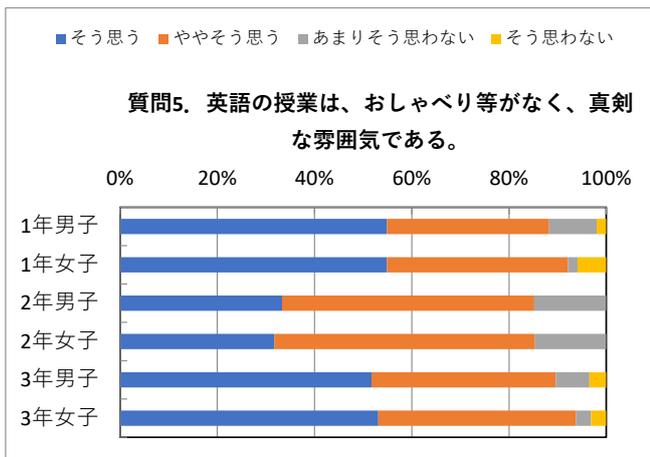
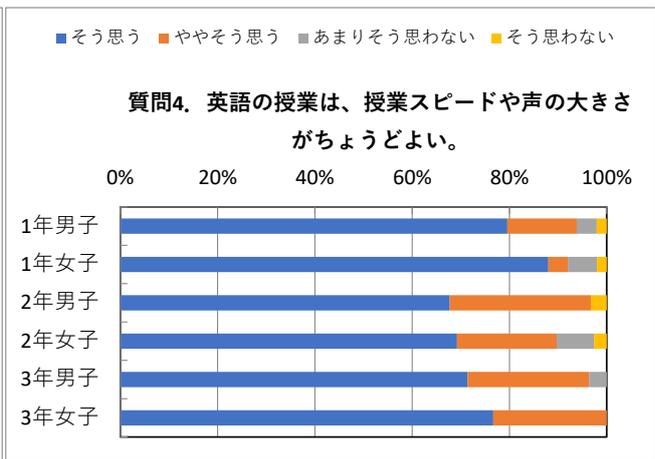
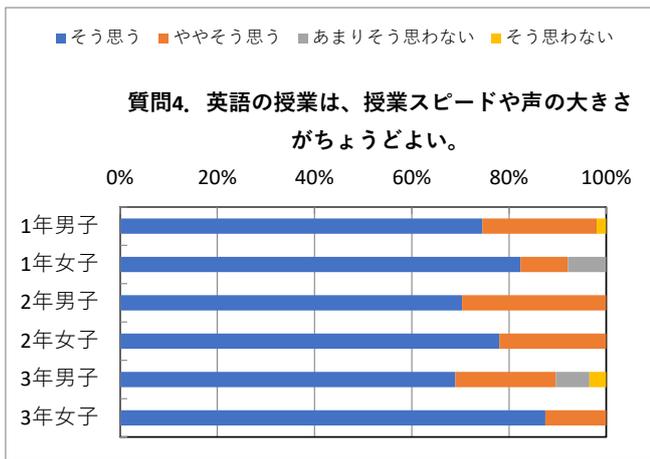


■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 英語の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%





【分析】
 全体的に肯定的な回答が多い。特に「質問1」では「そう思う」という割合が多く、生徒自身が話しやすい雰囲気作りができていると考えられる。また、ICT機器や視覚教材を多用することで生徒にとって分かりやすい授業に結びついていると考えられる。

【課題】 [1年]「質問1」「質問4」で男子の方が「そう思う」という割合が少ない。今後はより積極的に声をかけていく。またペアワーク等の組み合わせにも気を付ける。
 [2年]「質問5」では、ややそう思うという割合が多い。生徒が話す活動とそれ以外の活動（聞く場面や書く場面）とのメリハリをつけていく。
 [3年]「質問3」では「そう思う」という生徒の割合が多い。それが「質問1」の分かりやすい、活動しやすいという結果につながっていると考える。今後もICTや視覚教材を多用し、生徒の理解につなげていく。

【分析】
 [1年]「質問5」では、男子の肯定評価が微増した。継続した指導によりノート作り等、課題への取り組みが軌道に乗ったものと考えられる。また「質問4」で否定評価が微増した。帯活動で基本的事項を定着させつつ、丁寧に指導していく。
 [2年]「質問1・4・5」で否定評価が増えた。少人数クラスでよい雰囲気での授業は行っているが、学習内容が高度化（話す聞く活動から読む書く活動へ移行）し始めたことに対応しきれていない、もしくは伸び悩みを感じる生徒が現れた為と見られる。その傾向が見られる生徒に配慮し授業速度や教材を一層精査する。
 [3年]「質問1」で、男子の否定評価が軽微化し、女子の否定評価が無くなった。帯活動で読解練習や会話活動を積み重ねてきたことで、学習内容の高度化に対応できるようになったと考えられる。

【成果と課題】
 文法導入や音読練習時に、プロジェクターを積極的に活用し始めたため、「質問3」の項目が微増した。わかりやすい導入や口頭練習のための教材作成に一層努めていく必要がある。また、タブレット端末の利用方法の開発が今後の課題である。さらに充実したICTでの活動を行えるよう、授業改善に努める。

【7月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 音楽の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

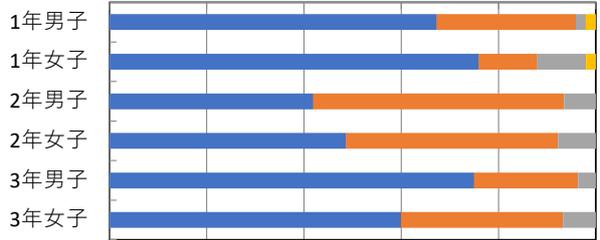


【12月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 音楽の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

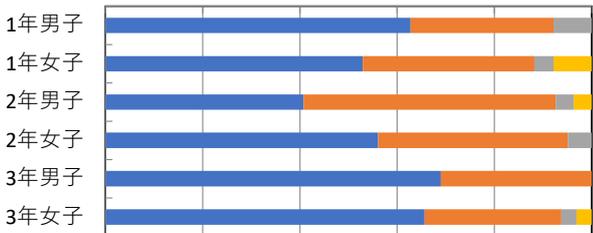
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 音楽の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 音楽の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

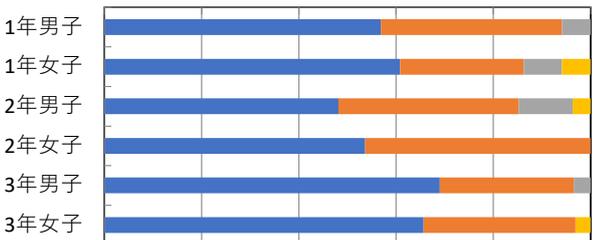
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 音楽の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

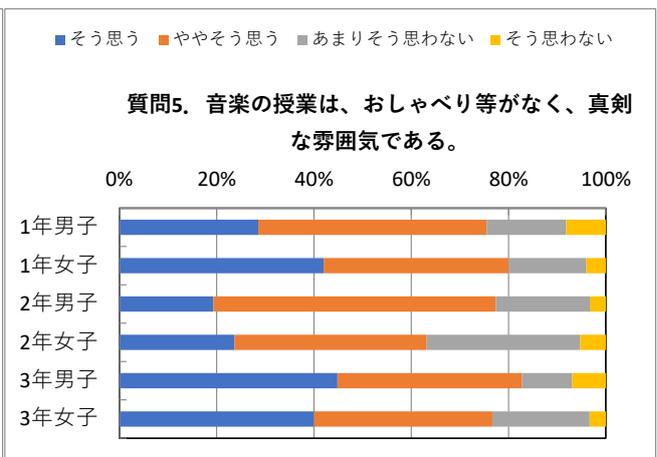
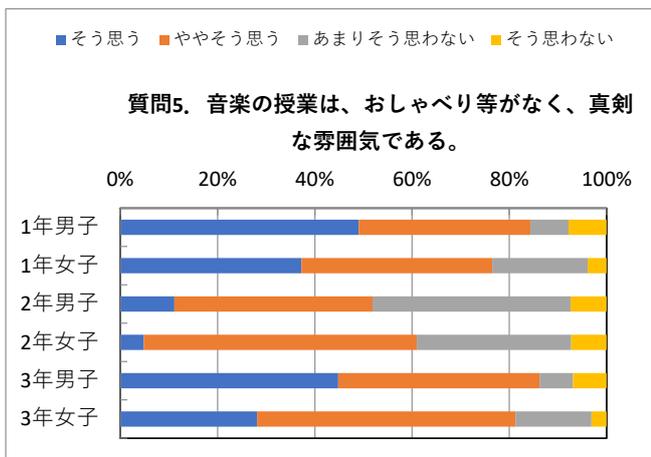
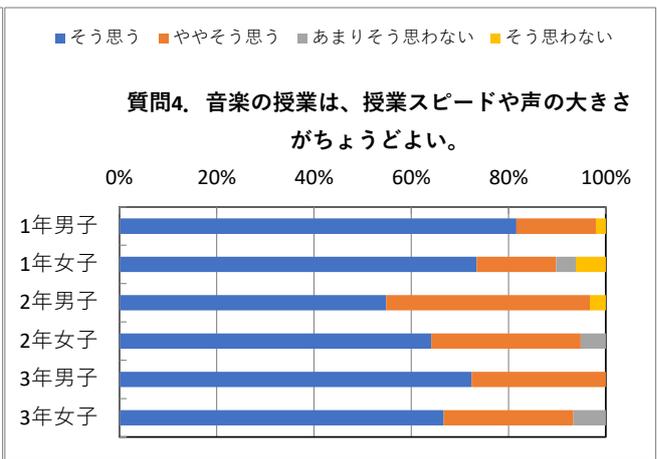
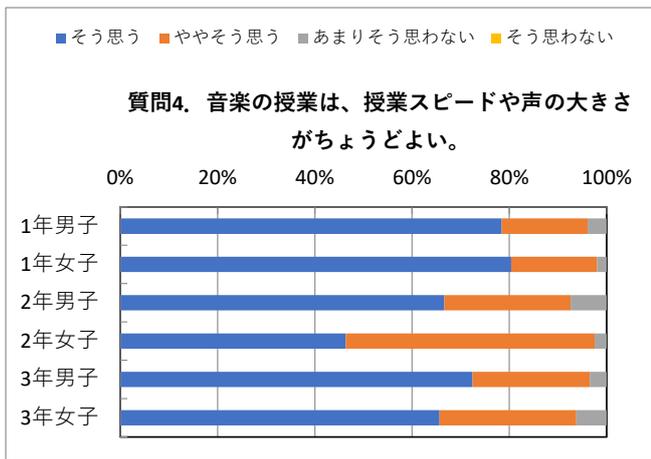


■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 音楽の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%





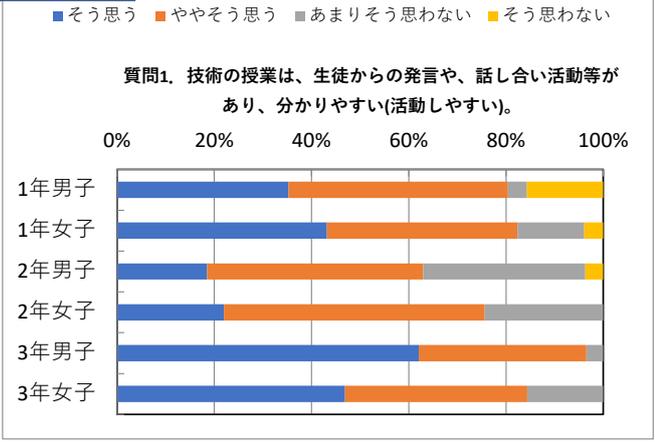
【分析】
 全体的に肯定的な回答が多いが、「質問5」は、他の質問と比較して肯定的な回答が少ない。特に2年では半数程が否定的な回答になっている。授業規律において、改善が必要である。ICT機器等の教具の活用やワークシートの工夫等が生徒にとって分かりやすい授業に結びつくと考えられる。

【課題】
 [1年] 「質問2」で、めあてやポイントが伝わっていないことが伺える。授業内で何回も言う等、改善していく。
 [2年] 他の学年と比較して、「質問4」では「そう思う」の範囲が少ない。生徒の様子等から判断し、授業のスピードや声の大きさを改善していく。
 [3年] 「質問1」では女子からの否定的な回答がある。女子が活動しやすい授業になるよう、工夫していく。

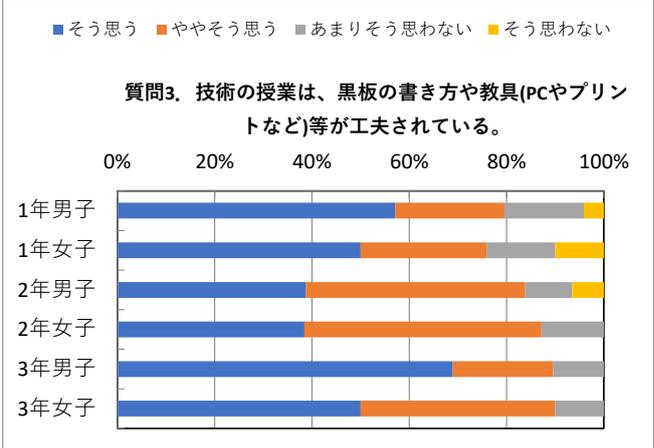
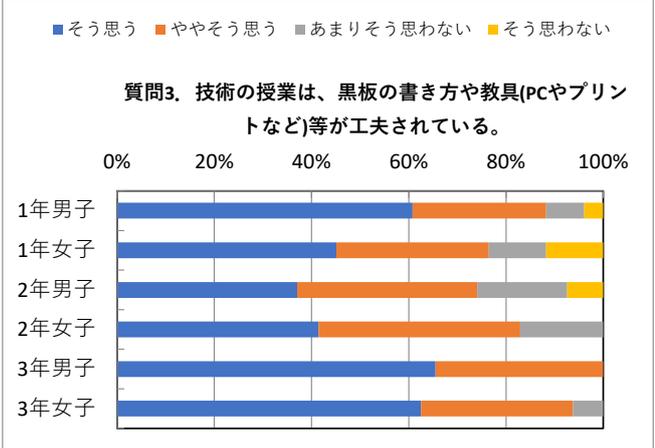
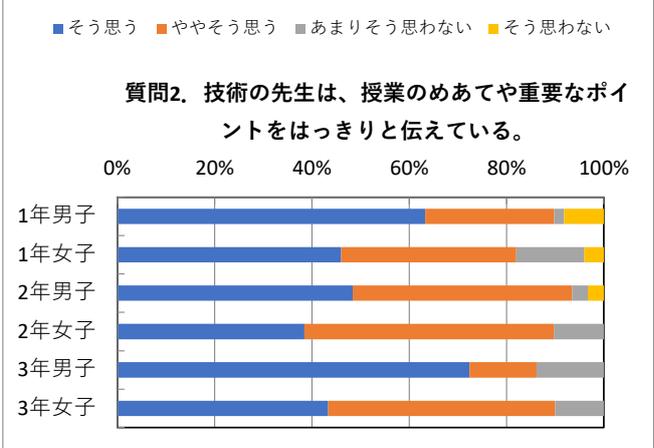
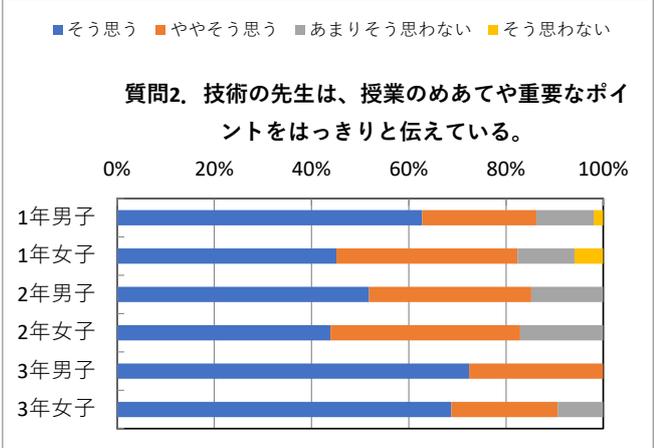
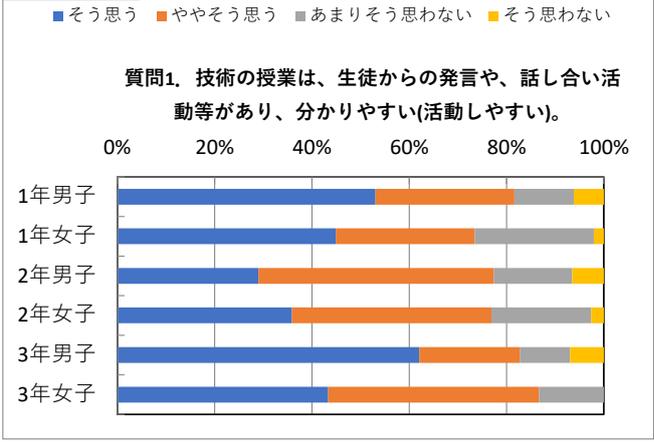
【分析】
 [1年] 「質問4」では、女子の否定評価がやや増えた。話し合いやパート練習等の活動で、生徒の様子をよく見ながら、授業スピードや声の大きさを調整していく。また、「質問5」において、「あまりそう思わない」という評価が増えている。活動の場面でそうでない場面でメリハリをつけ、授業規律について継続した指導をしていく。
 [2年] 「質問1」における肯定評価が男子に増えたものの、学年を見ると依然として他学年よりも「そう思う」と回答した割合が低い。学習目標を分かりやすく伝え、時間設定や練習環境を整えていく。
 [3年] 「質問5」で、女子の「「そう思う」という評価は増えたものの、全体的には否定評価が増えてしまった。活動の時間がおしゃべりを容認する雰囲気にならないよう、メリハリある授業を展開する。

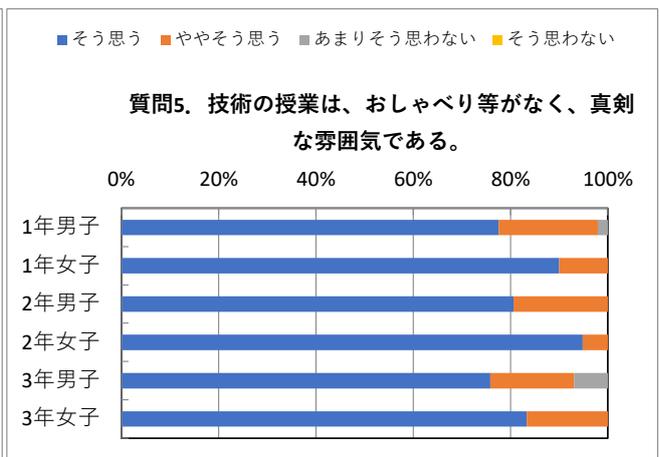
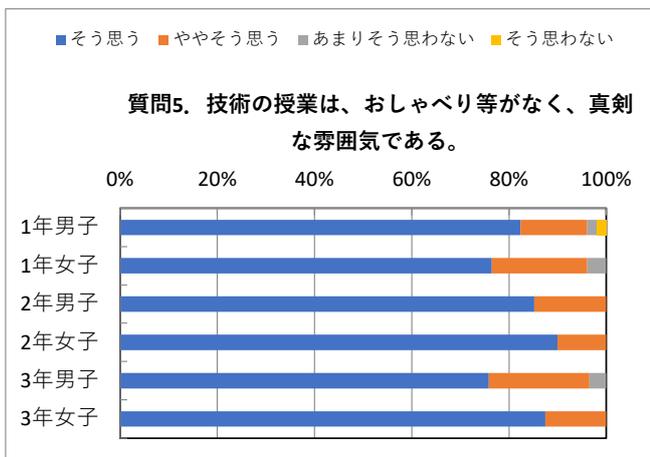
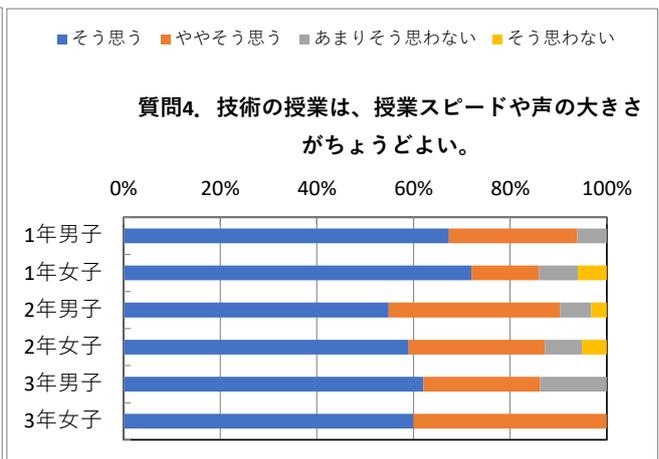
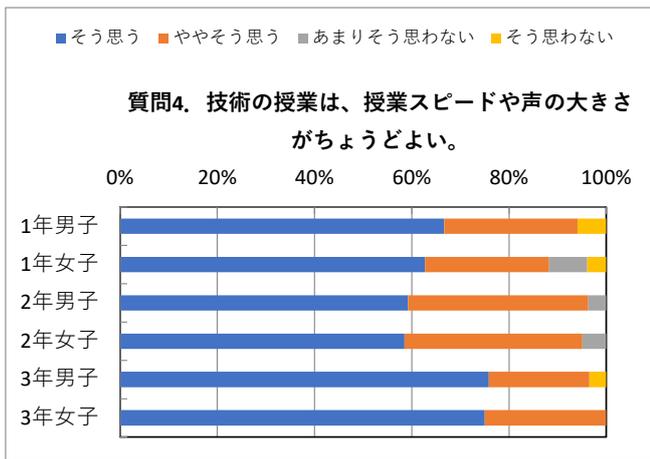
【成果と課題】
 2学期以降、授業で何を目的としているか説明し、授業のめあてを生徒が書くことで、学習目標や授業のポイントをより明確にすることができた。また、ICT機器の使用やワークシートの改善により、少しでも分かりやすい授業に努め、「質問3」の肯定評価が伸びる結果となった。一方で、授業規律に課題がある。さらに充実した活動を行うためにも、学習課題へのアプローチや発問等を工夫し、メリハリある授業を行うよう努める。

【7月】



【12月】





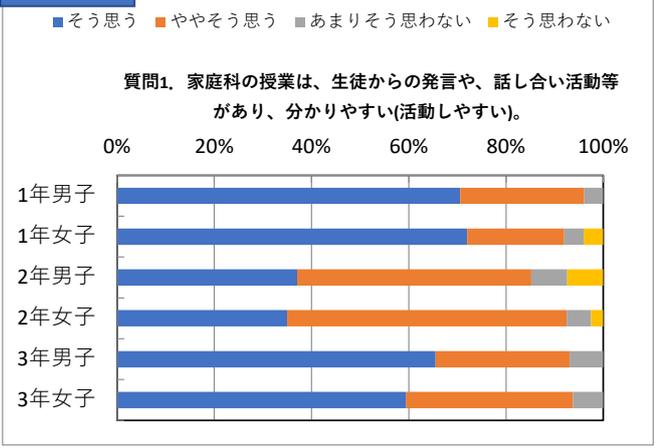
【分析】
 授業活動がパソコンを使用した個人作業であるため、発言や発表の機会は少ない。集中して授業に臨んでいることが「質問5」からもわかる。

【課題】
 [1・2年]
 「質問2」の結果から、より明確に授業のポイントの説明が必要がある。大事なポイントを復唱し、全体に周知していく。
 [2年]
 「質問1」の結果から、生徒同士の発言で作業が進められるよう、大人数の中できめ細かい個別指導をしていく。
 [3年]
 どの質問も肯定的意見が多かった。これからも少ない授業の中で効率的に進める必要がある。

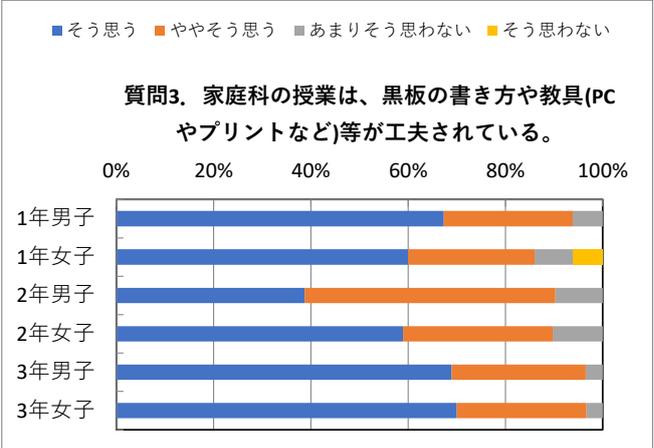
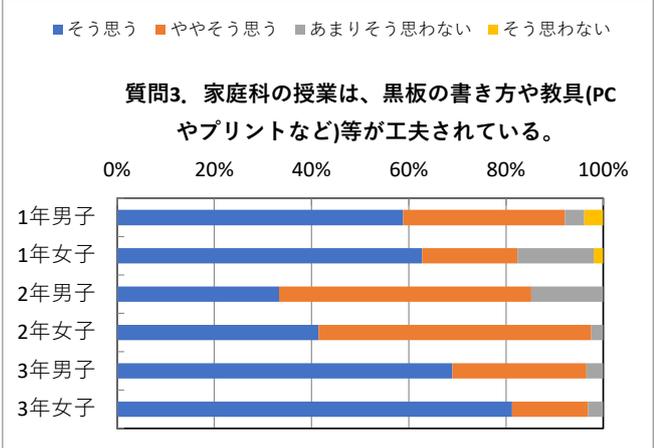
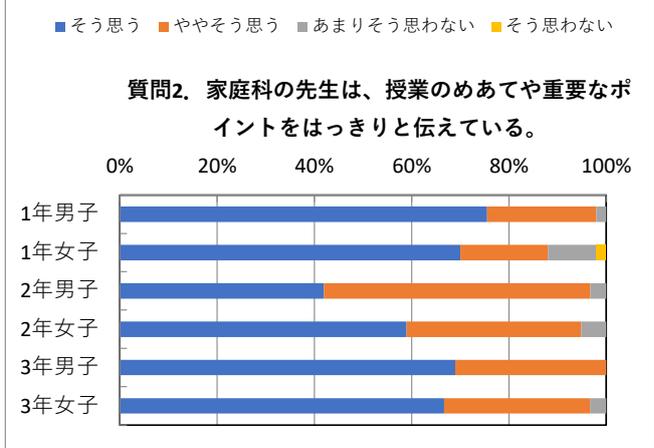
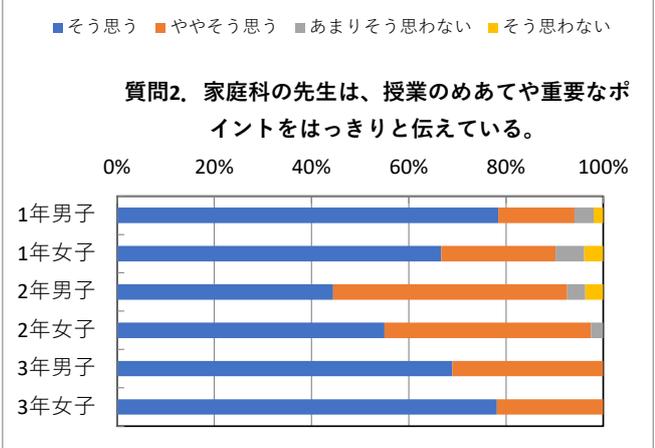
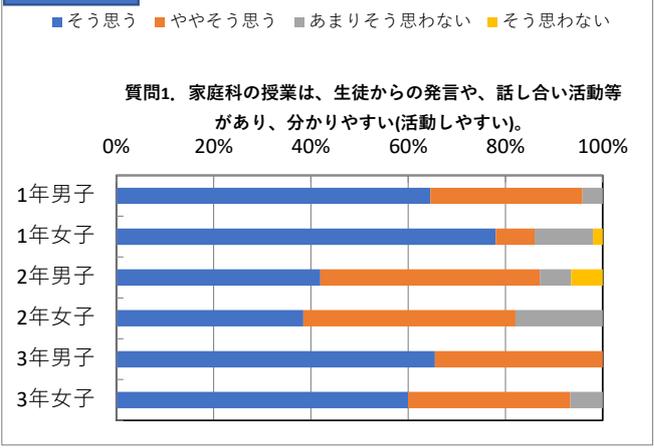
【分析】
 11月までは授業でパソコン室を利用し、パソコンを使用した個人作業があるため、発言や発表の機会は1学期同様少ない。集中して授業に臨んでいることが「質問5」からもわかる。また、3年生の「質問4」にみられる授業のスピードについて、授業数も少なく進度も早い、「良い」とする評価が高い。これは、生徒の意欲や、理解度が上がってきた成果ではないかと考えられる。12月から技術室を使っの「モノづくり」に内容が変わっているが、どの学年の生徒も、変わらず意欲的に取り組んでいる。

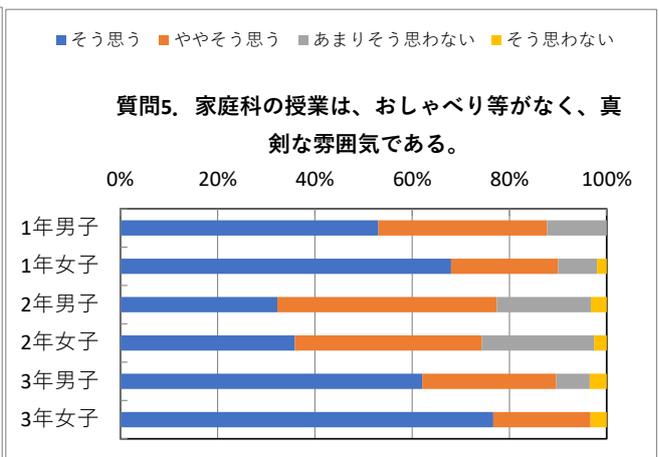
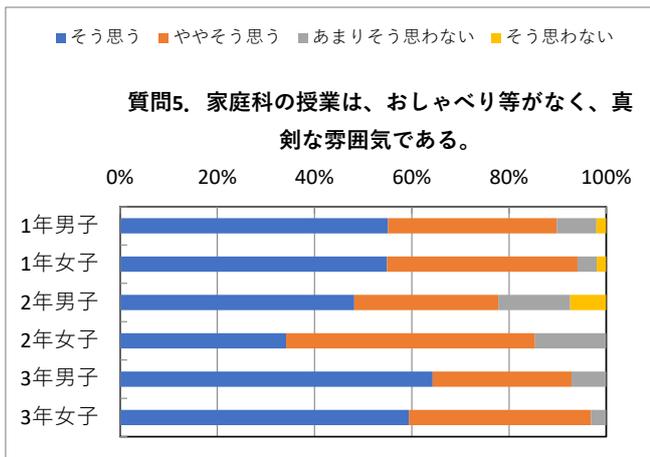
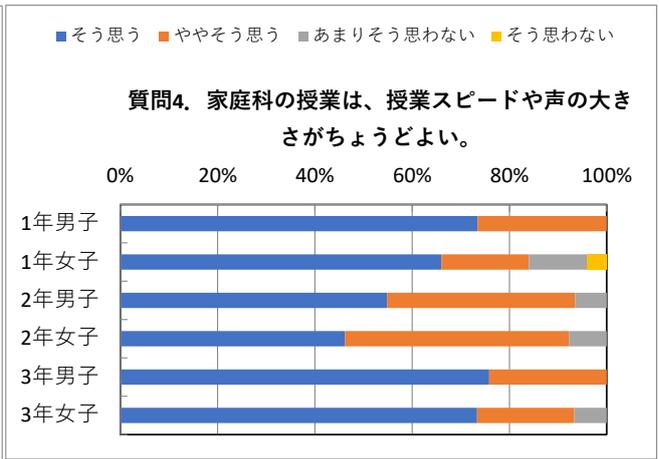
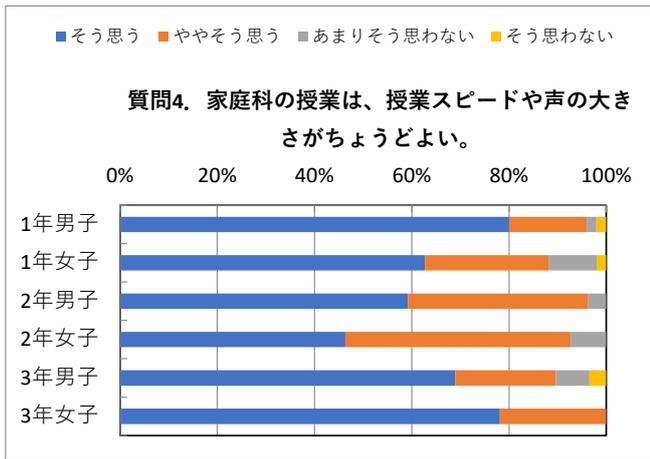
【成果と課題】
 [1・2年]
 「質問2」の結果から、12月の結果としてはやや改善している。来年度もさらに明確に授業のポイントの説明することを意識していく。
 来年度は「質問1」の結果から、生徒同士の発言で作業が進められるよう、授業中にきめ細かい個別指導をしていく。
 [3年]
 どの質問も肯定的意見が多かった。少ない授業の中で効率的に進めることができたのではないかと。来年度も生徒の実情に合わせた取り組みを工夫する。

【7月】



【12月】





【分析】「質問3・4」の結果から、当初、班活動を取り入れることができず、プリントやノートでまとめていく授業が中心となり、定着が不十分であった生徒が見られた。板書の工夫や教具の使い方のタイミングを更に工夫していく必要があると考えられる。

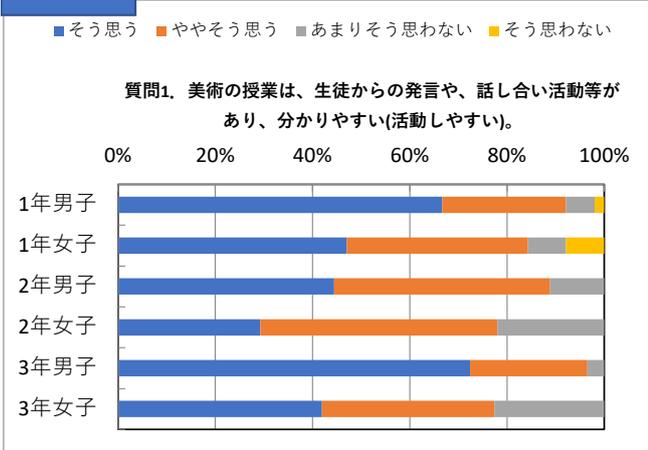
【課題】
 [1年]「質問3」の結果から、理解できないまま取り組んでいる生徒が読み取れる。机間巡視しながら、生徒の把握が更に必要である。
 [2年]「質問5」の結果から、授業に集中できない生徒の割合が他学年に比べ多く見られた。作業への取り組み等も含め、更に教具等の工夫をしていく。
 [3年]「質問4」の結果から、机間巡視しながら、理解できないまま取り組んでいる生徒への把握を更に心掛けていく。

【分析】「質問1」の結果から、今年度は調理実習が実施できず、また班活動も少なく、学んだことが授業の実習に反映できず、定着が不十分だった生徒が見られた。しかし、学習支援員等のサポートにより、書くことや考えることができるようになった生徒も多々見られた。

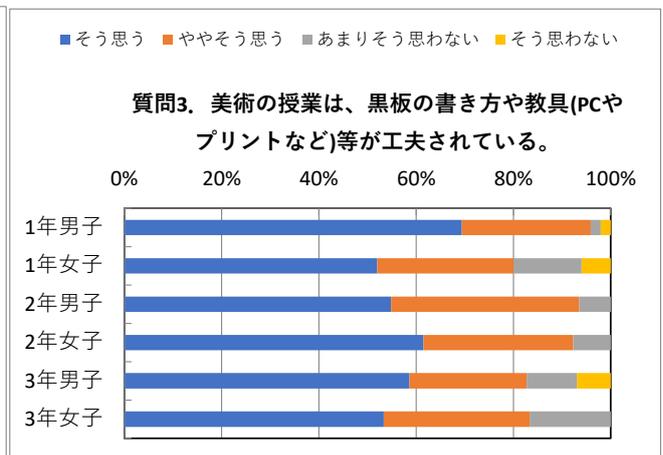
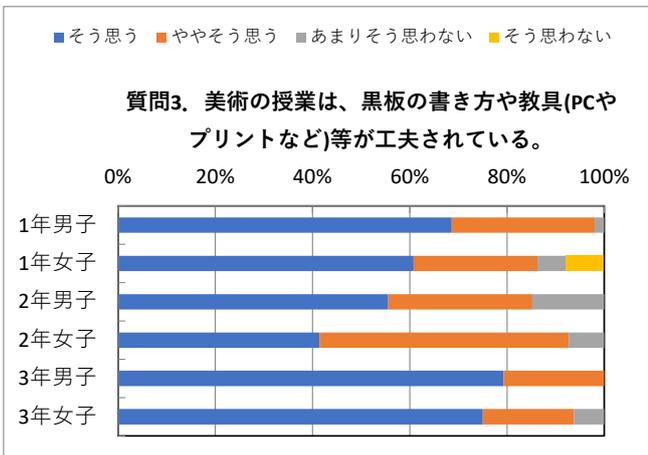
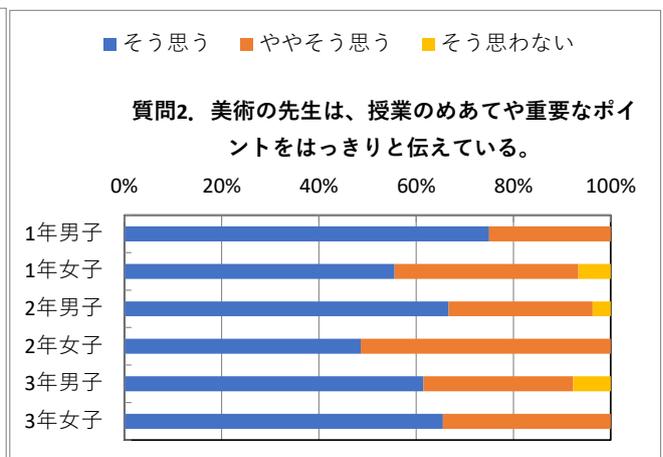
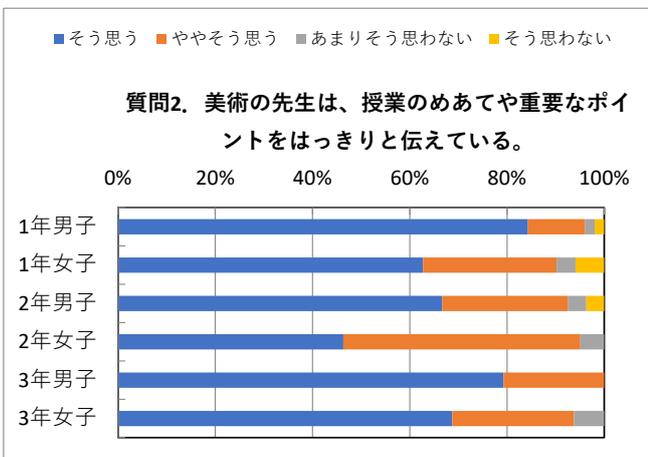
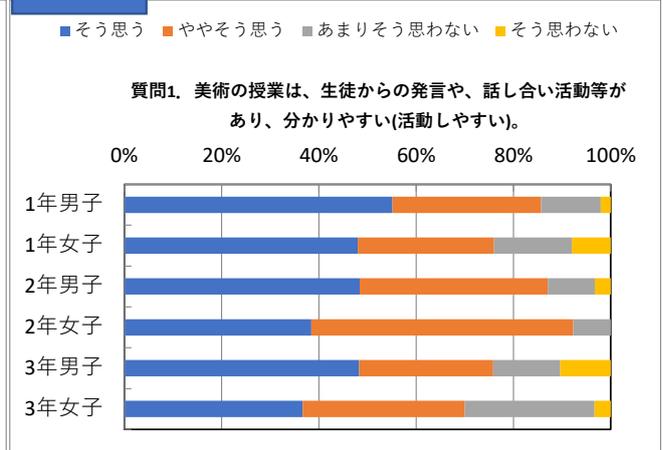
「質問5」の結果からは、衣生活での実習は、前を向いての個々の作業が中心となったが、わからなかった点を生徒同士の聴き合いを入れたので、騒がしいと感じた生徒がいた点は反省点である。提示の仕方を更に工夫していく必要がある。

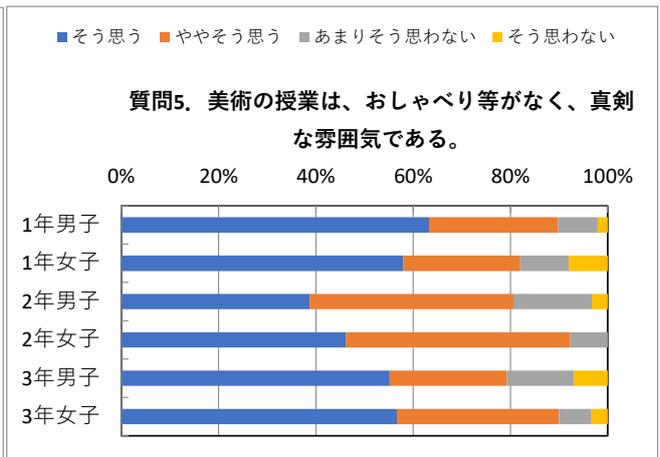
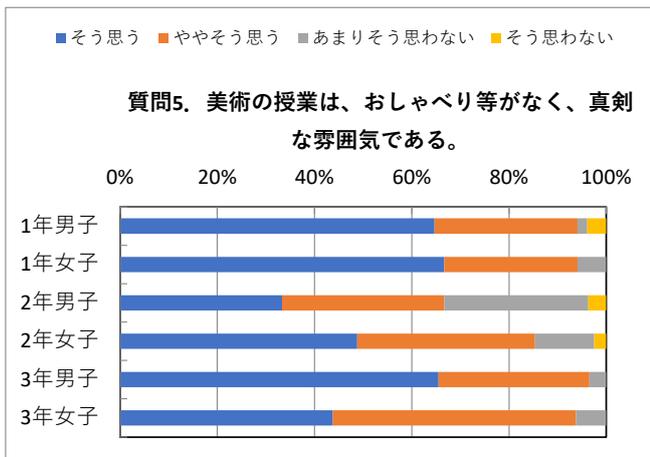
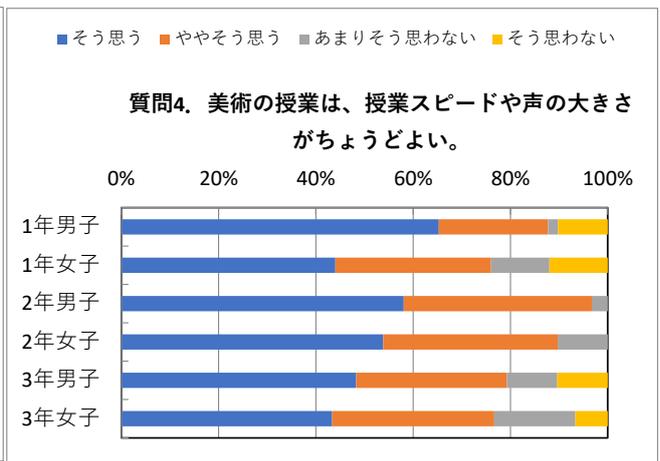
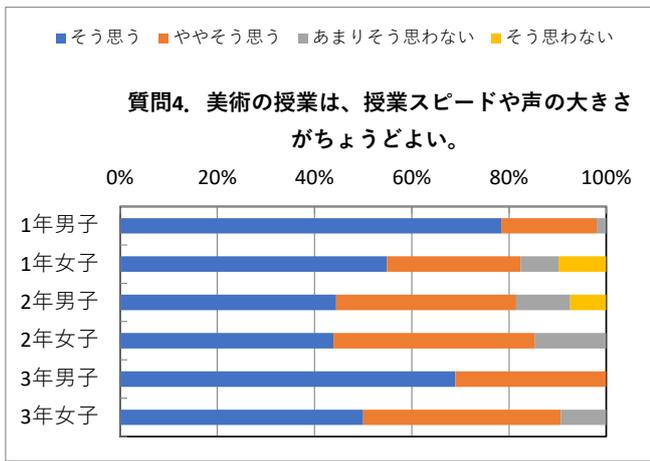
【成果と課題】
 作品を仕上げていく意欲のある生徒が多く、やる気を感じられた。ノート・プリント等の整理など徐々にではあるが、しっかりとできるようになった生徒が増えた。「質問3」の結果から、まとめていくコツを掴んだ生徒が多いが、PCの活用などを取り入れ、分かりやすい授業の展開に努めていく。

【7月】



【12月】





【分析】
 全体として肯定よりな意見が多いが、重要なポイントの提示や授業の意図が伝わっていないケースがあることが分かった。また、授業のスピードが速いを感じている生徒がいることが分かった。

【課題】
 [1年] 「質問1～4女子」に関して、否定的な意見を持つ生徒が3～5人ずついる。授業観察の中で困り感を見つけ解決していく。
 [2年] 「質問5」の結果から、授業にいかに真剣に向き合わせるかが課題である。授業中の生徒同士の話し合いや、ICT機器を利用し、授業に向かう姿勢の向上を目指す。
 [3年] 「質問1女子」より、分かりにくさを感じている生徒がいることを把握した。より具体的にポイントを明示していく。

【分析】
 [1年] 全体的に否定評価が増えた。とくに「質問2」「質問3」に関しては後期の方がICTの活用や板書に関する取り組みや、プリントの配布等授業展開の工夫を行ってきた。しかし、否定的な評価が増えた原因は、取り扱っている題材や、授業内容の専門性が上がっていることが挙げられる。参考作品を掲示するなど、指示をより明確にする必要がある。
 [2年] 研修等で学んだ工夫が反映され、全体的に肯定的な意見が増えた。とくに「質問4」の男子と「質問5」の女子の「そう思わない」が無くなった。一方で、「質問1」に対して「そう思わない」と感じている生徒が見られた。コロナ禍でも可能な話し合い活動を積極的に取り入れていく。
 [3年] 「質問4」において否定的な意見が増えた。取り組み全体を把握させ、振り返りを行っているが作業スピードの差がどうしても出てしまっている。1単位時間の構成を工夫し、全体が授業目標を達成できるようにする。

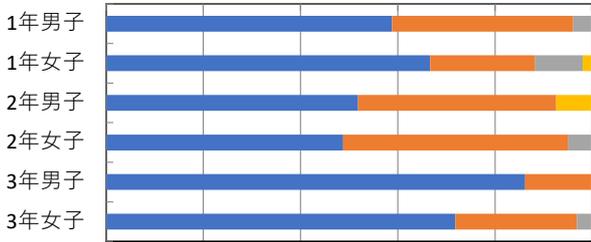
【成果と課題】
 今年度はICTの利用や思考ツールの導入も含め、新しいことに取り組む自己開発の年であった。その結果が「質問3」に反映されている。これらの経験を踏まえ生徒にとって何が最善であるかを考え次年度につなげていく。
 来年度、生徒に配布されるタブレットの利用方法を開発し、更なる授業改善に努める。

【7月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 保健体育の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【12月】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問1. 保健体育の授業は、生徒からの発言や、話し合い活動等があり、分かりやすい(活動しやすい)。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 保健体育の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

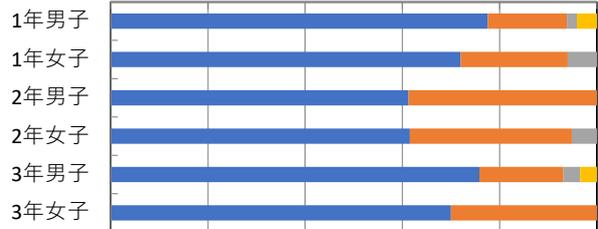
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問2. 保健体育の先生は、授業のめあてや重要なポイントをはっきりと伝えている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 保健体育の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

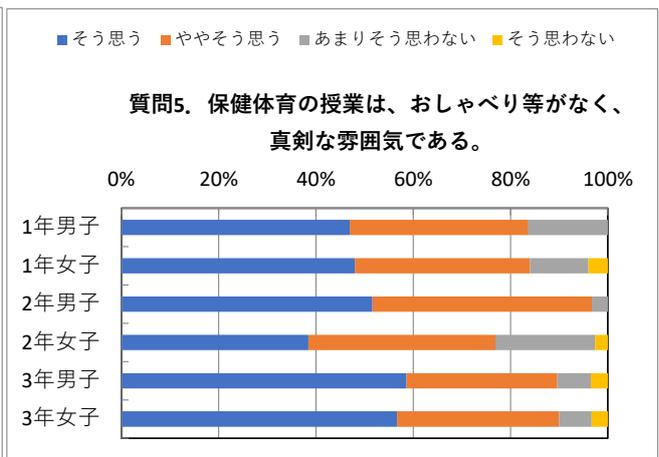
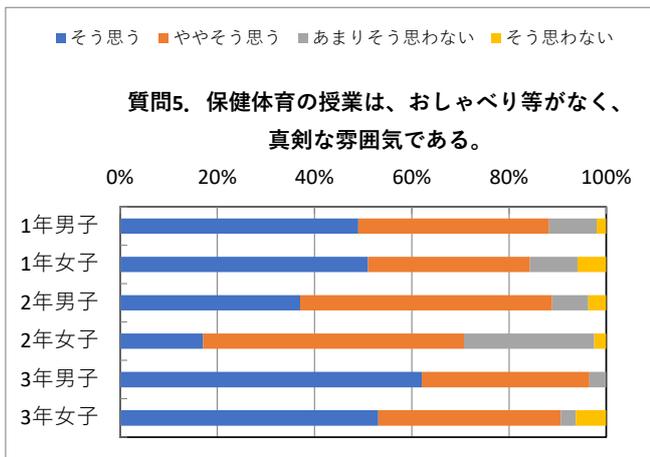
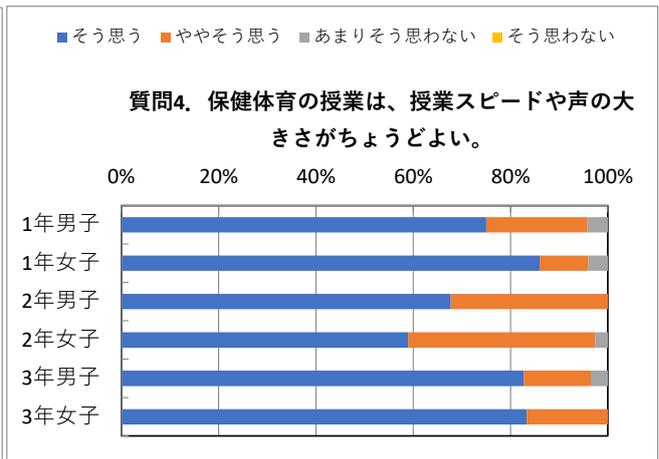
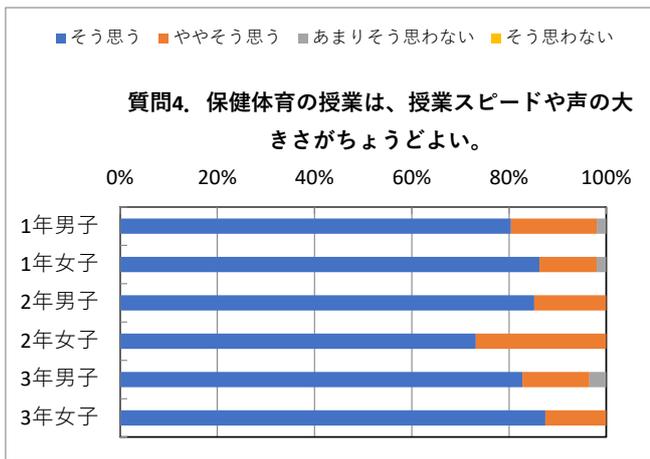


■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問3. 保健体育の授業は、黒板の書き方や教具(PCやプリントなど)等が工夫されている。

0% 20% 40% 60% 80% 100%





【分析】 ほぼすべての項目で80%を超える結果で全体的に肯定的であった。特に「質問4」では、「そう思う」が多く、授業の進度・声の大きさが適切だと考えられる。

【課題】
 [1年]全ての項目で否定的な評価が一桁なので今後もこの状態を保ったままより高い質の授業を目指していく。
 [2年]男女間で大きく差があるのが質問3である。なので板書や教具の工夫に取り組み改善していく。
 [3年]全ての項目で否定的な評価が一桁なので今後もこの状態を保ったままより高い質の授業を目指していく。

【分析】
 [1年] どの質問においても大きな変動もなく、落ち着いた授業展開ができていると考える。今後もコロナ禍の中でできることを工夫しながら、授業に取り入れていく。
 [2年] 「質問3」では男女ともに7月よりも向上していた。引き続きICTを保健・実技共に活用していく。「質問4」では女子の否定評価が増えたので、改めて授業スピードや教材をさらに工夫していく。
 [3年] 「質問1」「質問2」では女子の否定評価が増えた。毎時間の明確な目標を伝えるようにし、授業スピードや教材にもさらに工夫していく。

【成果と課題】
 今年度はコロナの影響の中で手探りで授業を進めてきた。とくに保健の授業では話し合い活動はほとんど取り入れることができなかった。7月と比べICT機器を積極的に活用したことで2年生男女ともに「質問3」の項目が伸びる結果となった。来年度は、話し合い活動はもちろんのこと、ICT機器の活用や技能の教え合いをさらに充実させる活動を行えるよう、授業改善に努める。